

## 特別会計

一般会計と区別が必要な事業の会計

8つある特別会計は  
いずれも赤字は  
ありませんでした

区分	歳入	歳出	差し引き
土地区画整理	4.6億円	4.6億円	0円
駐車場	3.3億円	1.2億円	2.1億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	4.5億円	0.5億円	3.9億円
国民健康保険	1,885億円	1,877億円	8億円
後期高齢者医療	263億円	253億円	10億円
介護保険	1,447億円	1,412億円	35億円
基金	24億円	23億円	1億円
公債	3,749億円	3,749億円	0円

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致しないところがあります

お保険料など  
お財布を分けて  
確認しやすく  
しているよ



## 企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

中央卸売市場は赤字、市立札幌病院・路面電車・地下鉄・水道・下水道は黒字です

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致しないところがあります

	市立札幌病院	中央卸売市場	路面電車	地下鉄	水道	下水道
主な実施内容	老朽化した設備や医療機器の更新	冷暖房の機能維持のため、ガスヒートポンプ室外機などを更新	低床車両と除雪車両の製造や停留場の改修工事	南北線高架駅の耐震工事、駅の空調設備の改良工事	施設、水道管路の更新や耐震化	老朽化した下水道管路や施設の改築、浸水対策、地震対策
収益的収支	収入 239億円 → 支出 234億円 5億円	収入 22億円 → 支出 24億円 -2億円	収入 20億円 → 支出 19億円 0.5億円	収入 510億円 → 支出 410億円 100億円	収入 454億円 → 支出 349億円 105億円	収入 523億円 → 支出 486億円 37億円
資金の状況	5億円の資金残	10億円の資金残	4億円の資金残	8億円の資金残	146億円の資金残※	74億円の資金残
赤字の累積額	93億円	43億円	4億円	2,188億円	なし	なし

※水道施設更新積立金96億円を含む

## 資産

### 基金

特定の事業や財源が不足したときに使う貯金

■残高…3,565億円  
財政調整基金201億円など21基金

### 財産

公園や学校などの公有財産や物品、債権

■公有財産…土地5,503万㎡、建物(延べ面積)578万㎡、有価証券15億円、出資による権利159億円  
■物品(100万円以上のもの)…5,218点(台)  
■債権(民間への貸付金など)…30億円

## 市の財政の特徴を 見てみよう

自治体の財政状況を示す指標である「健全化判断比率」は良好な水準です。また、市の借金である市債の残高は1兆6,720億円となり、15年連続で減少。しかし、医療や福祉などにかかる費用が増え、自由に使えるお金が少ない状態が続いており、油断はできません。

### 健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	札幌市	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率 3つの会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	2.2%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借金などの割合	57.3%	400%

※この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要になります

### 自力で得る収入が少なく、国からの交付金が多い

#### 財政力指数

標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合

0.735

政令市20都市中17位  
政令市平均0.863

### 定期的な収入に対して、自由に使えるお金が少ない

#### 経常収支比率

お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているかを示す割合

95.6%

政令市20都市中6位  
政令市平均96.1

# さっぽろのお財布

市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするため、予算の執行状況や決算を毎年公表しています。このページでは、平成30年度の決算の概要や市の財政状況をお知らせします。【詳細】企画調査課☎211-2216



私  
が  
解  
説  
す  
る  
わ

## 平成30年度決算の状況を見てみよう



お金の  
使い道を  
3つの  
会計ごと  
に見てい  
くわに

### 一般会計

福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計

歳入から歳出を差し引いた収支は75億円の黒字です

歳入は国庫支出金などが見込みよりも少なかったものの、歳出をできる限り節約したことで、黒字収支を維持しています。

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

歳入総額 9,885億円

前年度比54億円増(0.6%増)

市民1人  
当たりの負担  
16.6万円<sup>※1</sup>

構成比  
33.0%

市税 3,259億円

市民税・固定資産税など市民が納めた税金

29年度と比べて 納税者数の増加や土地価格の上昇などにより335億円増加

22.2%

国庫支出金 2,198億円

国が必要と認めた事業に対して国から配分されるお金

10.6%

地方交付税 1,046億円

人口や税率などに応じて国から配分されるお金

9.6%

市債 949億円

施設を建てる時などに借入るお金

29年度と比べて 市民交流プラザの整備が終了したことなどにより92億円減少

8.2%

諸収入 806億円

貸したお金の返済金や主くじの収益金など

16.4%

その他 1,628億円

道から交付されるお金やごみ処理の手数料など

歳出総額 9,811億円

前年度比118億円増(1.2%増)

市民1人  
当たり  
49.9万円<sup>※1</sup>

構成比  
38.1%

歳入から歳出を引いた額75億円

52億円を令和元年度に繰り越し、23億円を貯金

15.8%

保健福祉費 3,741億円

医療、福祉、保健などにかかったお金

29年度と比べて 道からの難病治療にかかる医療費助成の権限移譲などにより130億円増加

11.0%

土木費 1,078億円

道路の除雪や公園などを整備するお金

29年度と比べて 地震や台風により被災した道路や公園などの復旧のため33億円増加

8.8%

公債費 865億円

施設を建てる時などに借入たお金の返済金

8.2%

諸支出金 802億円

特別会計や企業会計へ渡すお金など

6.6%

経済費 650億円

産業を育て、経済を活性化させるためのお金

11.5%

その他 1,124億円

教育やごみ処理にかかったお金など

※1 平成31年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出



## 市の財政のこれからを見よう

今後は、収入の伸びは  
期待できず、

支出は増加する見込みです

少子高齢化、人口減少が進む中、市税をはじめとする収入は減少する可能性も。一方で、社会保障費や公共施設の建て替え費用の増加が予想されます。

お金の使い方と集め方の見直しを一層進めます

子育てや都心部の再開発などへ積極的に予算を配分しながら、各事業の見直しを進めてめりはりのある財政運営を行うほか、市債の適切な管理を実施。経済を活性化し収入を増やすとともに、市税などの取納対策にも力を入れ、財政基盤も強化します。

活用できる基金\*の残高は15年後も300億円を維持

今後もまちづくりの取り組みを進めるため、基金を活用しますが、不測の事態への備えも含めて適正な水準を維持していきます。

\*財政調整基金など657億円

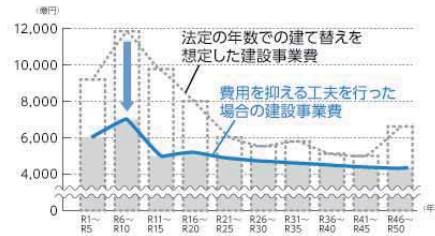
### 公共施設の建て替えにかかる費用を抑える取り組みを紹介！

公共施設の更新の必要性に対応しながら、  
建て替え費用を抑えます

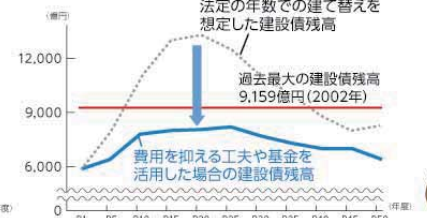
公共施設の建て替えなどにかかる費用は、本年度の予算では1,034億円ですが、今後50年間では年間で平均1,444億円かかることを想定。そこで、右記のような費用を抑える工夫を行います。

- 建物が長く使えるように、改修や修繕を実施
- 建て替え時期を分散させて、費用の偏りを軽減
- 施設の機能を維持しながら複合化を進め、総数を抑制

■今後50年間における建設事業費の見通し



■建設費に充てられる市債（建設債）残高の見通し



過去最も高かった  
残高も下回る水準  
を維持するわ



## 令和元年度予算の執行状況

お金の  
使用状況  
ね



※令和元年9月末現在

### 一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
1兆408億円	39.7%	38.0%

### 特別会計 ※公債会計を除く

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,853億円	37.1%	39.5%
介護保険	1,491億円	39.7%	40.4%
その他	292億円	38.8%	30.1%

### 市債残高

一般会計	特別会計	企業会計
1兆907億円	16億円	5,752億円

### 企業会計 (収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	242億円	50.5%	239億円	48.5%
中央卸売市場	22億円	46.2%	24億円	21.0%
路面電車	21億円	37.4%	22億円	22.0%
地下鉄	508億円	46.4%	426億円	23.2%
水道	458億円	47.2%	368億円	34.6%
下水道	529億円	37.1%	507億円	16.1%

基金残高 3,641億円

一時借入金残高 企業会計(病院)10億円

市の財政の詳細のほか、本年度の予算の執行状況は、ホームページでご覧になれます